

平成25年度  
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
(研究成果の社会還元・普及事業)  
実施報告書

HT25020 世界の手話を知ろう！～アジア・アフリカの手話はどんな言葉？～



開催日：平成25年11月9日(土)

実施機関：秋田大学  
(実施場所) (教育文化学部3号館)

実施代表者：宮本 律子  
(所属・職名) (教育文化学部・教授)

受講生：高校2名

関連 URL :

【実施内容】

1. 当日のスケジュール

- 9:00～ 9:30 受付(手形キャンパス教育文化学部3号館入口集合)
- 9:30～ 9:50 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)
- 9:50～10:40 講義①「世界の手話」(講師:森 壮也)
- 10:40～10:55 休憩
- 10:55～11:45 講義②「アフリカのろう文化と手話」(講師:宮本律子)
- 11:45～12:45 昼食
- 12:45～13:45 講義③「アジアのろう文化と手話」(講師:森 壮也)
- 13:45～14:00 休憩
- 14:00～15:00 演習:日本手話の表現を色々な手話と比較しながら勉強してみよう!
- 15:00～15:10 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)
- 15:10 終了・解散

2. 工夫した点

本プログラムは、昨年度に引き続き、手話研究に関する成果を中高生に伝えることを目的とした。昨年度は秋田と東京のろう学校を会場に、手話を日常的に使用しているろう学校の生徒とその周囲の関係者等に対して講義をおこなったが、本年度は、会場を秋田のみにし、主として聴者の生徒を対象に実施した。手話通訳を配して手話と日本語の両言語で講義を行った後、簡単な日本手話を学ぶ演習をおこなった。このことにより、あまり触れたことのない手話を直に体験するという機会が提供できた。

3. 実施の様子



#### 4. 協力体制・広報活動・安全配慮

事務局と実施代表者がつねに連絡を取り合い、経費節約のため、協力してチラシを制作するなど協力体制は万全であった。広報活動においては、大学のホームページや広報誌を活用し、さらに、県内の中学校・高等学校の中で手話サークルなどがありそうな学校に電話連絡を取るなどの工夫をした。また、社会福祉協議会をはじめとした県内の手話関係団体とも連絡をとり、周知を依頼した。

安全配慮については、参加者全員に短期のリクレーション保険に加入させたので、十分に安全が確保された。

#### 5. 今後の発展性・課題

本年度は、ろう学校に限定せず聴者の生徒も多数受講できるよう、大学を会場として開催したが、受講生がなかなか集まらず苦慮した。今後は、さらに受講生を増やすため、会場設定や広報の方法を検討し直すことが課題である。

#### 【実施分担者】

なし

#### 【実施協力者】

         6 名

#### 【事務担当者】

栗田 駿人

学術研究課・事務職員